

医療用ロボット-生命を救う機器



医療患者のケアにおいて多種多様の症状や治療に対応するため、進歩し続けなければなりません。これは特に医療機器や医療用ロボットについて言えることであり、常に新しい課題に挑戦しなければなりません。

マルチチャンネル配合機は最大 20 本の注射器や点滴を同時に充填することができます。製剤はタッチスクリーンを使用してコンピュータ制御システムに入力されます。制御システムは、指定された医療患者の処方に従って必要な各成分を自動的に供給するポンプシステムを制御します。

連続的に投薬しなければならない場合もそうでない場合も必要に応じて精密モータが使用されます。

製剤を体内に入れるために駆動モータが使われ、シリンジプランジャーに対して一定の供給量を確保します。

(例：中空針、カニューレ、注射器)

R+W社製ゼロ・バックラッシュでねじり剛性金属ベローズ・カップリングを使用することにより、自動充填装置において各成分の配合を正確に行うことができます。